

令和2年度 榛中だより

5月号

令和2年 5月28日(木)

(<http://www.haibara-jh.ed.city.uda.nara.jp/index.html>)

学校目標

『一人ひとりが活躍できる榛原中』
～目標を持ち主体的に生きる生徒の育成～

(文責：山本)

6月1日学校再開へ

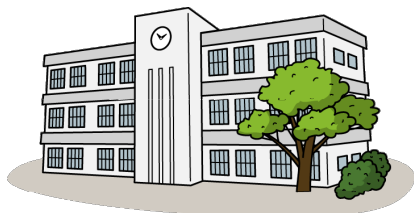
令和2年度がスタートしてから数日後に臨時休業になりましたが、ようやく学校が再開できる日が、近づいてきました。生徒の皆さんも、「長い」という言葉以上に、長く感じたこの2ヶ月間であったことだと思います。

薄ピンク色の桜や白いこぶしの花が咲いていた4月から、新緑がまぶしい5月になりました。新型コロナウイルスのことをニュースで見聞きする日々ですが、季節は着実に進んでいきます。学校の周囲には、木々の若葉が目鮮やかに映り、つばめが子育てに忙しく飛び回っています。



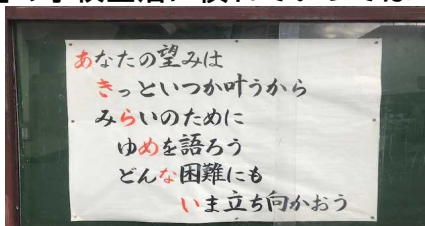
この時期は例年各学年とも、学校から一歩離れ、なかまとの絆を深める学年行事が行われているのが通常ではありますが、今年は家庭での学習となりました。いつもの年とは違う毎日の生活でどんなことを考えましたか？普段、なかなかできないことや読書などにも取り組むことができたでしょうか？特に1年生は、入学して間もなく臨時休校となりました。「中学生になった」という実感は未だにないかもしれません。一方、2・3年生は、学年行事や部活動に汗する日々をきっと想像していたことでしょう。

臨時休校期間を通して感じたことや考えたことを自分なりに表現してみてもはどうでしょうか。今まで当たり前のようにあったことが、急になくなったこと。または、家でいなければいなくなったことから気づいたこと。それらは何でしょうか？ある人は、「自分を自分で作る期間」、「自分を見つける期間」と表現した人もいます。学校が再開していれば、「当然やっていたこと」と、逆に家庭にいるからこそ「普段できないけどできたこと」がきっとあるはずだと思います。そのような経験や出来事を生かして学校生活に臨んでほしいと思います。6月1日から学校が再開され、徐々に「新たな生活様式」の学校生活に慣れていってほしいと思います。



校門付近の掲示板にあるメッセージに気づいた人も多いと思います。

『あなたの望みは きっと いつか叶うから みらいのために ゆめを語ろう どんな困難にも いま立ち向かおう』



自分なりの目標を見つけて、前に進んでほしいですね。

学校目標

『一人ひとりが活躍
できる榛原中』

～目標を持ち主体的に
生きる生徒の育成～

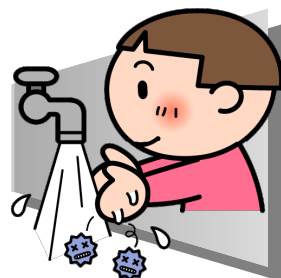
この『榛中便り』の冒頭にある言葉が、今年の学校目標です。皆さん一人ひとりの良さ(強み)は何ですか？一人ひとりが持っている良さ(強み)を認めあい、互いに支え合える榛原中学校を創っていきたいと思います。それぞれの良さ(強み)にはどんなことがありますか。学習？スポーツ？特技？その他皆さんが持っているすばらしさがあるはず。皆さん一人ひとりが目標を持ち、それに向け、自分の良さを生かしながら成長していける学校を目指したいと考えています。どうかこの1年、この学校目標の下に何事にもチャレンジしていきましょう。

皆さんには、この目標のもとで『感謝・挨拶・挑戦』ということを実行にうつしてほしいと願っています。

- ・感謝の気持ちを大切に、爽やかな挨拶ができる生徒
- ・自ら考え、判断し、行動できる生徒
- ・自らの可能性に向かって努力できる生徒

コロナにまけるな!!

新型コロナウイルス感染拡大防止の関点、特に飛沫感染を考慮し、給食は先生の指導の下、全員大声を出さず、前を向いて「いただきます」から「ごちそうさま」までの間のみマスクをはずして会食することとしています。給食前後の手洗いを必ず行うことを初め、感染拡大防止を意識しながらの給食ですが、皆さん一人ひとりが安全安心な給食ができるよう協力願います。



お知らせ

<6/8(月)より給食を開始します>

新型コロナウイルス感染のリスクを低減させながら、授業を初め、給食等を再開していきます。再開にあたってのガイドラインをHPに掲載していますのでご覧下さい。